

第3回基本構想審議会における指摘事項への対応について

議題	主な指摘事項	事務局の対応
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">将来に向けての課題について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人口減少が、年少人口の減少や出生率が低いために起こっているような見え方をしている。シンプルに死亡数と出生数のグラフを載せた方が分かりやすいのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人口ビジョン改訂版に出生死亡数を掲載するなど、全体を通して誤解を招かないような記載とします。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ワークショップで挙げられたアイデアを今後のまちづくりに活かしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ワークショップ報告書を全庁的に共有し、個別の取り組みを進める上での参考とします。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他市では若手職員の提案をもとに事業を実施している例もあり、人材育成の観点から若手職員がトライできるような制度があってもよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 若手職員が積極的にトライできる仕組みとして、本市も職員提案制度を設けているため、今後も活性化に努めていきます。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ワークショップでの目指すまちの姿にもあるが、市と市民でどのように理解を深め合いながらともにまちづくりを進めていくか方向性（仕組み、機会や場づくり）を検討していく必要があると考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市と市民のコミュニケーションの仕組みについて、引き続き検討を進めます。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まちづくりの目標について まちの将来像及び</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体として、もう少し挑戦というイメージを出せないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本構想（現状と課題・基本姿勢）に、チャレンジする姿勢について記載します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地方創生で行ってきた人口増や転入者増に向けた取り組みの費用対効果についてこれからは検証する必要があるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在進めている総合戦略の成果について、今後の審議会にて実績を示すことを予定しています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市内だけに視線を向けず、関係人口の増加や広域連携など、広い視点に立ったまちづくりのニュアンスについて含めるべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本構想（現状と課題・基本姿勢）に、広域的な連携の必要性について記載します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 65～74 歳でも気力・体力のある元気な方々もいっしょに、そういった方々が活躍できる環境づくりも必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本構想（現状と課題・まちづくりの目標）に、高齢者を含めた全世代の活躍について記載します。</li> </ul>

議題	主な指摘事項	事務局の対応
まちづくりの目標について まちの将来像及び	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まちの将来像やまちづくりの目標について、ワークショップなどの意見をもとに集約していく中で、抽象的になり、交野市でなくとも当てはまるような表現となっている印象を受ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本市の現状と課題を踏まえ、目標に結び付いていくという構成を、基本構想の中でより分かりやすく整理しました。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 下からの意見を吸い上げて作っていく姿勢そのものも、大きなまちづくりの目標に入れてもよいのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な意見を積み上げて政策立案するという点について、協働の具体的アクションとして、基本計画の中に示していくことを検討します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 若い世代や子育て世帯を受け入れて人口を増やしたいということが前に出てきているが、高齢になっていかれる方たちが元気に安心して暮らせる、またそうでなくなったとしても安心して暮らせる、といったことも記載しておくべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本構想全体のバランスを見直すとともに、高齢者を含めた全世代の活躍と安心した暮らしについて、目標に記載します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行財政について、今あるものをいかにうまく使っていくかが重要である。交野市では住民の方々が様々な活動をされている。そういった方々との連携、現在ある資源の有効活用という視点を含めてもよいのではないかと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本構想（まちづくりの目標・基本姿勢）に、まちに存在する様々な資源を活かすことについて記載します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分野別に目標を5つに分けられているが、目標のもとに線引きをして、どの分野がどの課題に対応するのかを整理し、基本構想の構成について審議する必要があり、もう少し見える化した資料を提示いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本計画スキームの説明において、政策分野との関係イメージを示します。</li> </ul>